

中広土192

2014・12・8(月) TEL78-2024 文責:校長

【学校教育目標】自主・自律

【めざす生徒像】

- 1 学ぶ楽しさを知り、意欲的に根強く学ぶ生徒
- 2 互いを尊重し、高め合う生徒
- 3 心身共に健康で安全な生活を築く生徒

1・2年生の進路学習会を行いました！



1・2年生は、5日に県内8校の国公立の高校から講師を招き、進路学習会を開催しました。生徒は事前に選択した4校について講師の方から、高校の学科の特色や学習・部活動の様子、高校卒業後の進路について資料と映像をもとに具体的な説明を受け、高校進学前に中学校でしっかり学習しなければという決意も高まったようです。今回、多くの高校より生徒一人ひとりに資料をいただきましたので、熟読してください。

今年12月22日が冬至で、一年のうちで最も昼の時間が短い日とされています。しかし、日没がもっと早いのが今の時期で福島市での日没は16時19分です。冬至のときの日没は、16時23分です。ちなみに日の出が最も遅いのは、1月3日～9日頃で6時54分となっています。平均すると12月22日が昼の時間が最も短い日となります。ところで日本では、昔から冬至のときにはカボチャを食べる風習がありますが、今はどれくらいの家庭で「冬至カボチャ」を食べているのでしょうか……。

※「冬至カボチャ」とは、昔から野菜が少ない冬に保存がきき、カロチンやビタミンの多いカボチャを食べ、カゼ等への抵抗力をつけようとした先人の知恵のようです。

3年生 面接練習始まる！

3年生は、高校入試に向けた面接練習を始めています。面接指導を3学年教師が行った後には、校長・教頭・教務が模擬面接官となり行う予定です。保護者の皆様も、お子様に自分自身の高校入試や入社試験等での面接の経験談を聞かせてあげてはどうでしょうか。面接は、第一印象が大切です。明るく、元気に、はきはきと話すことをいつも心がけておきましょう。

歳末助け合い募金を届けました

生徒会のボランティア委員会の人たちが中心となって行った歳末助け合い募金運動では、10,611円が集まりました。5日に田村市社会福祉協議会へ募金を手渡しました。皆様のご協力ありがとうございました。

「子どものときに、もっと勉強しておけばよかった」と思っている大人も多い！

子どものときにもっと勉強しておけばよかった。そう思っている大人はずいぶん多い。その理由は三つある。

①年をとるに従って記憶力が悪くなり、どうしても覚えなくてはならないことすらなかなか覚えられない。その上、忘れっぽくなる。勉強の効果が一番上がるのは子どもの時だったんだ、ということが分かってくる。

②社会に出て仕事をするにしても、その他いろいろな人と付き合っていくにも、また世の中の様子を理解して、自分を順応させ、能力を発揮していく上でも、子どものときの勉強が基礎になっているということを知る。

③いろんな場面で、「やっぱり勉強している人は違うなあ」と思うようなことがよくあり、目のつけどころ、物の見方などではるかに優れたものがあることを知る。

このような体験から、「もっと勉強しておけばよかった」と思い、ついその気持ちが子どもに「勉強しろ!!」という言葉となって出てしまう。大人になると生活に追われ、一見ムダと思えるような勉強に、時間をたっぷりさくことはできない。だから後悔しているのです。

読書タイム～子育てに関連する内容より～

7年ほど前にベストセラーになった「親の品格」という本の中に、「自分のことは自分でできる子に」という内容がありますので紹介します。中学生のみなさんは、どれくらい身の周りのことを自分で行えていますか！？

自分のことは自分でできる子に

子育ての目標は何でしょうか。それは、親から自立した人間にすることです。親は子どもかわいさのあまり、つい子どもの世話を焼きすぎてしまいますが、自分の身の周りのことは自分でできるよう育てるのが、子育ての基本目標の一つです。朝、決められた時間に目を覚まし、顔を洗い、歯磨き、食事をして学校に行くことから始めて、自分の持ち物を整理する、忘れ物をしない、清潔な衣服を着るなどは十歳までに身につけさせたいものです。簡単な料理をつくる、洗濯をする、掃除をするという生活技術も、お手伝いを通して身につけさせましょう。残念ながら高校生になっても大学生になっても、日常生活のうえで自立できない子どもがたくさんいます。とりわけ男の子の場合、日常生活上の自立は必要ないと考え、何から何まで母親が世話をする場合もあります。しかし、それでは子どもは独り立ちできません。自分のことは自分でできる子に育てましょう。誰かが何も言わずにやってくれるという習慣を続けていると、それが当たり前のこととなり、感謝の気持ちを忘れてしまいます。自分のことは自分でする習慣になっていけば、他の人がやってくれると感謝の心が生まれます。



日常生活で自分のことができるようになったら、次は精神的な、そして経済的な自立をめざさなければなりません。その過程で親が認識すべきことは、人の世話にならず生きる力をもつと自分の自信につながり、世話をしてくれる人への感謝の心が生まれるという事実です。自立は孤立ではありません。人の世話にならないで生きていける力を身につけると、その力で人を世話することができるようになります。人から世話を受けるのをあてにしていると、その力はつきません。(中略)

親はいつまでも子どもの生活を支えることができません。お菓子やおもちゃで喜んでいた子どもは、成長するとより高価なものでないと喜ばなくなります。親は子どもが欲しがるものをいつまでも与え続けることはできません。試験を代わって受けるわけにはいきません。子ども自身に試験に合格できる学力を身につけてもらわなければなりません。途上国援助であっても、魚を与えるより、魚を釣るすべを教えるほうが相手国のためになるといいます。子どもが欲しがるものを親が与えるのではなく、それを自分で手に入れるにはどうすればよいかを教え、手に入れる力を身につけさせましょう。

入賞おめでとう！

【田村地区中学校造形展】

- ◎特選→1年 酒井〇〇、佐藤〇〇
2年 富塚〇〇、郡司〇〇
3年 石田〇〇〇、橋本〇〇〇、
根本〇〇〇、竹澤〇〇、
白土〇〇、石塚〇〇
○入選→1年10名、2年8名、
3年14名

【福島県生徒造形展】※田村地区造形展の特選から選ばれ県へ出品された人です。

- 特選→3年 橋本〇〇〇、竹澤〇〇、
白土〇〇、石塚〇〇

冬の防寒対策は万全に！

12月より登下校時の防寒と健康面を考慮し、女子生徒はストッキング(タイツ)をはいてくるようにしました。タイツだけでは寒いという場合は、タイツの下にソックスを履くなど工夫してください。なお、自転車通学生はスカート着用でなく、運動着やウインドブレーカーを履いてかまいません。

冬季の登下校の安全対策

【徒歩】○凍結、積雪路は、歩幅を小さくして歩く。

○周囲の状況に注意しながら歩く。車のスリップや屋根からの落雪に注意。

○手袋をする。安全のため、ポケットには手を入れない。

【自転車通学】

○凍結、積雪路は運転しない。

○反射板の装着、ライトの点検をきちんと行う。

○スピード控え、一時停止遵守。

【車の送迎を受ける場合】○全席シートベルトをする。

○車の乗降は、左側のドアから行う。



冬休み中にJRで片道100km以上の距離を利用する生徒は学割が使えます。学割の手続きは、事務室へ！